

自民党公認  
**寺田 稔**  
みのも



## 寺田稔5つの提言

- ① 国の正しいかたち創りの推進**  
我が国が国際社会に於いて尊厳ある国家として誇りある地位を築くため、防衛力増強に努めると共に、日本外交を再建し、日本の主権を守ります。
- ② 地方創生の実現と地域経済の活性化**  
地域再生なくして日本再生はありません。初当選以来、新規雇用創出などを盛り込んだ「呉・芸南地域再生プラン・島嶼部発展プラン」を発表しその実現を目指します。今回成立した地方創生交付金を含む地方創生法案の早期実行を目指します。
- ③ 防災・治安対策など住民の安心・安全確保**  
防災・治安対策など住民の安心・安全を確保することは政治の最大の責務です。東日本大震災の教訓を生かし、ハード・ソフト両面より強力に住民の安全を図っていきます。
- ④ 子育て支援と高齢者の安心確保**  
少子高齢化の流れの中、子育て支援策と医療、介護の充実を行うことは最重要課題です。自ら発起人となって策定した子育て支援策の実現に取り組むとともに持続可能な社会保障制度を構築します。被爆者救済にも全力で取り組みます。
- ⑤ コミゼロ社会の実現など美しい環境の創造**  
美しい環境を後世に残し豊かな青少年の育成に資することは我々の責務です。ゴミゼロ社会の実現に向け産官学連携を図り総合的に施策を展開します。
- 「てらだ稔」呉・芸南地域再生プラン（抄）**
1. 企業誘致等による地域の新規雇用創出
  2. 効率的・重点的な社会資本整備の推進
  3. ものづくり支援等各種産業支援、産業再生
  4. 行政事務のアウトソーシングの推進
- 「てらだ稔」島嶼部発展プラン（抄）**
1. 総合的産業振興策の推進
  2. 物流活性化策の推進
  3. デジタルデバインド・是正事業の推進
  4. 生活関連社会資本整備の効率的・重点的推進

## 国を守り、地域を守る！信頼と実行！

比例代表も自民党へ

**経歴**

- 昭和三十三年一月二十四日広島生まれ（五十六歳）
- 広島附属中・高校を経て東大法学部卒
- 大蔵省入省、ハーバード大学院修了
- 財務省主計官などを経て内閣府参事官を最後に退官
- 平成十六年衆議院初当選（現在三期目）党広島五区支部長、党組織局長、防衛大臣政務官、内閣府副大臣、復興副大臣、党副幹事長、党国対委員長など 歴任

日本共産党  
**尾崎 ひかる**

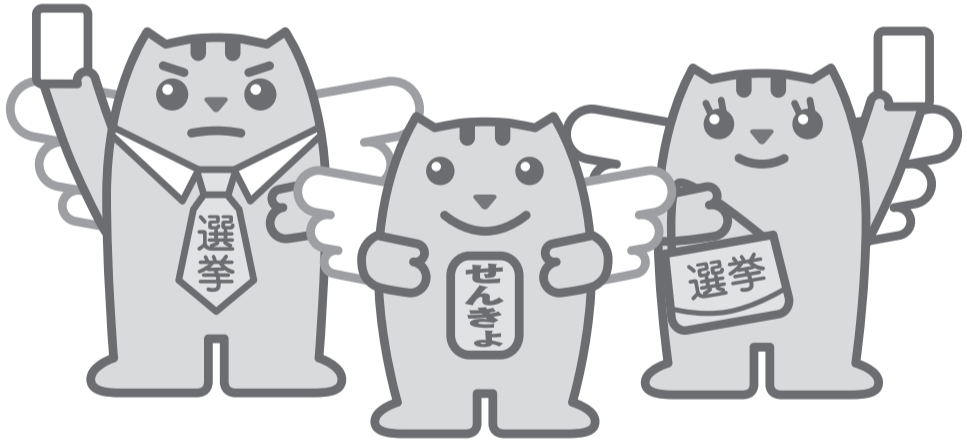


## 国民の声で動く新しい政治へ

- 消費税 10% キッパリ中止、「戦争への道」NO!**
- 「5つの転換」を訴えます**  
日本共産党は、日本の政治の「5つの転換」を訴えてきたかいます。
- 消費税10%** 「消費税に頼らない別の道」を安心して増税中止の声をあげよう  
● 富裕層と大企業に負担を求めよう  
● 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収を増やそう
  - アベノミクス** 「格差拡大、景気悪化をとめ」  
● 人問らしく働ける雇用のルールをつくる  
● 年金削減ストップ、低すぎる年金の底上げ、医療費の窓口負担、国保料・税の軽減、特養ホーム、保育園の待機者（待）ゼロ  
● 米価暴落の緊急対策を実施、TPP撤退、農業と中小企業の振興を
  - 集団的自衛権** 「戦争する国」づくり許さない  
● 核兵器廃絶 憲法9条まもる  
● 集団的自衛権の閣議決定は撤回。秘密保護法は廃止  
● 9条の精神にたった外交を
  - 原発** 「原発ゼロの日本」へ転換  
● 「稼働原発ゼロ」で省エネ努力は原発13基分、「原発ゼロ」で立派にやっつけていく
  - 米軍基地** 沖縄の新基地建設中止  
● 基地のない平和な島へ  
● オスプレイの配備撤回、米軍機の低空飛行訓練中止
- 政治とカネ**  
● 最悪の既得権益  
● 政治をゆがめる  
● 政党助成金の廃止を  
● 企業・団体献金禁止

比例代表は  
**日本共産党**  
とお書きください  
個人名は無効

略歴=愛媛県出身。県立壬生川工業高校中退。県生活と健康を守る会常任理事を歴任。現在、党中部地区委員長。62歳。



# 投票日 12月14日(日)

投票用紙は  
 小選挙区選出議員……………ピンク色  
 比例代表選出議員……………水色  
 最高裁判所裁判官国民審査……………白色  
 です。

(この選挙公報は、公職選挙法の規定により、候補者から提出された原稿を原文のまま写真製版で印刷したものです。)